

(平成29年8月分)

部 門	市況の概要
(青果部の動向) 全 般	8月の青果物の入荷量は、曇雨天による低温や日照不足の影響から、下位等級品の割合が高まり、出荷も遅れたため、前年同月比で5%下回った。また、品薄傾向となり、単価高で推移する品目があったものの、品質不良もあり、単価は前年同月並みであった。 9月は、栗や松茸、果実では梨やりんごの入荷が増え、柿の入荷が始まる。
野 菜	野菜の入荷量は、根菜類、土物類の作柄は良く順調に出荷されたものの、果菜類における結実不足及び葉菜類における品質低下、出荷遅れにより、前年同月比で5%下回り、単価は前年同月並みであった。 根菜類の入荷量は前年同月比で5%上回り、単価は35%下回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は15%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で15%下回り、単価は17%上回った。 土物類の入荷量は前年同月並みであり、単価は32%下回った。
果 実	果実の入荷量は、着色不良や小玉傾向となったことから前年同月比で4%下回り、単価は7%上回った。 柑橘類の入荷量は、ハウスミカンの生産量減少により前年同月比で36%下回ったが、下位等級品の割合が高く、単価も5%下回った。 リンゴ類の入荷量は前年同月比で24%下回り、単価は11%上回った。 ナシ類の入荷量は前年同月比で32%下回り、単価は18%上回った。 モモ類の入荷量は、出荷ピークの時期が8月にずれ込んだため前年同月比で34%上回ったものの、消費需要が高く、単価も3%上回った。 ブドウ類の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は15%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で5%上回り、単価は前年同月並みであった。 スイカ類の入荷量は前年同月比で12%上回り、単価は9%下回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン	北海道を中心に入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は２９％下回った。
西洋ニンジン	北海道を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で１４％上回り，単価は５４％下回った。
【葉菜類】 ハクサイ	長野から入荷された。入荷量は前年同月比で６％下回り，単価は５５％上回った。
キャベツ	長野，群馬を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で１２％下回り，単価は２３％上回った。
ホウレンソウ	岐阜を中心にして茨城，群馬，静岡，京都からも入荷された。入荷量は前年同月比で５％下回り，単価は７％上回った。
レタス	長野を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で６％上回り，単価は５％下回った。
【果菜類】 キュウリ	福島，愛媛を中心に京都，奈良からも入荷された。入荷量は前年同月比で１３％下回り，単価は３７％上回った。
ナス	徳島，岐阜を中心に京都からも入荷された。入荷量は前年同月比で６％下回り，単価は前年同月比で３５％上回った。
トマト	北海道，岐阜を中心に京都からも入荷された。入荷量は前年同月比で２４％下回り，単価１４％上回った。
ピーマン	大分と兵庫，愛媛を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で１１％下回り，単価は３５％上回った。

【土物類】 バレイショ (メーク含む) タマネギ 【その他野菜】 生シイタケ	千葉，茨城を中心に青森，北海道からも入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は22%下回った。 兵庫を中心に北海道からも入荷された。入荷量は前年同月比で5%上回り，単価は54%下回った。 岡山，和歌山，北海道，徳島，長崎から入荷された。入荷量，単価ともに前年同月並みとなった。
---	---

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスミカン	佐賀，長崎，大分，和歌山から入荷された。産地生産量の減少と着色遅れのため入荷量は前年同月比で４２％下回ったが，着色の悪い下位等級品の割合が高く，単価も３％下回った。
津軽 （サン含む）	長野から入荷された。入荷量は前年同月比で５１％下回り，単価は１４％上回った。
幸水ナシ	佐賀，徳島，富山，長野中心に入荷された。入荷量は前年同月比で２８％下回り，単価は２６％上回った。
桃	山梨，長野，福島から入荷された。出荷ピークの時期が８月にずれ込んだため，入荷量は前年同月比で３４％上回ったが，消費需要が高く，単価も３％上回った。
デラウェア	山梨，山形，大阪から入荷された。産地の出荷期間が昨年よりも長かったため，入荷量は前年同月比で１５％上回ったが，全国的には流通量が減少したため，相場が引き上げられ，単価も１６％上回った。
巨峰	福岡，山梨，長野，鳥取から入荷された。入荷量は前年同月比で３％下回り，単価は１１％上回った。
アールスメロン	静岡，高知，茨城から入荷された。入荷量は前年同月比並みであり，単価は４％下回った。
大玉スイカ	山形，秋田，長野，石川から入荷された。入荷量は前年同月比で１２％上回り，単価は９％下回った。